

随想

第169回

さて、懸念される人口減少時代を目前にして、本市では総合計画が幸い順調に進捗し、「交流大地・土岐」の基盤も出来上がりました。

土岐プレミアム・アウトレットの集客数は、恐らく県下でもトップクラスであると存じますが、新たに百万人単位の集客が見込める大型商業施設立地の可能性もあります。一般論として、高速道路な



市制五十周年の春、待望久しかった東海環状自動車道が開通し、土岐プラズマ・リサーチパークも街開きされ、国内外から年間三百二十万人余の来客が期待される土岐プレミアム・アウトレットも開店し、土岐の新しい時代が始まります。
(土岐南) インターチェンジの近くでは、土岐口温泉の掘削に成功し、魅力が拡大しております。

研究学園都市機能としては、自然科学研究機構のご協力を得て、名工大前学長・柳田博明博士のご指導により、国際マテリアルアカデミー構想を新たに推進中でありました。
これは「出る杭を育てる」を合言葉に、人材育成と貴重な新素材の開発を通して、新時代の産業構造の高度化を図るものであります。

どの開通による影響について「ストロー効果」ということがいわれます。ジュースを飲むときのストローのように、高速道路の開通によって、広く市外から人々を吸い寄せることができるのか、それとも、市内の人々が吸い出されてしまうのかという点であります。広く市外からたくさんの方、金、情報などが市内に流

れ込んでこそ、地域は活性化されるものと存じます。そこで、本市の強みを考えますと、厳しい不況下ではありますが、陶業の長い歴史と伝統があり、素晴らしい生産技術と感性があり、就中、元屋敷陶器窯跡(織部の里)は国の指定史蹟であって東洋のルネッサンスの精華とまで称えられております。織部“発祥の地”であり、近年世界的に

として画期的な十四連房の巨大な登り窯で大量生産を行い、一世を風靡したのであります。皆さんは奇想天外に思われるかもしれませんが、私は世界文化遺産になる資格は十分と考え、世界文化遺産の暫定リストに登録していただけるよう文化庁に要請しているところであります。

土岐の美濃焼の生産技術は、素晴らしいものでありますが、さらに、濃南地域活性化のために、美容と健康づくりを目的とした「クアハウス曾木」の建設を進め、パルネオ・セラピー(温泉療法)の魅力的な拠点として広域的な集客を目指し、市民の皆様の美容と健康に役立てるとともに、市内の宿泊施設の活性化につなげたいと存じます。

土岐新時代をみんなの力で!!

時代の転換期に立つて

土岐市長 塚本保夫

注目されます「非対称の美」の原点でもあります。

残念ながら正当な評価を得ておりません。

世界史の面から考察いたしますと、約五百年前に大航海時代が始まり、五十年して種子島に鉄砲と南蛮文化が伝来し、室町の東山時代の洗練された文化と南蛮文化という異文化交流によって、さらに五十年後、今から約四百年前に突如として織部などの美濃桃山陶の優品が創出され、当時

何百万人もの人々に土岐の地で、世界文化遺産である陶芸の歴史と素晴らしい美濃焼に触れ、ご愛用いただけるのが私の夢であります。

夢は実現してこそ夢であります。ところで、ここ数年、産業観光の気運が高まり、道の駅「どんぶり会館」や「志野・

※「(土岐南) インターチェンジ」の表示は、地図表示を除き、文章表現の場合、通称として使いますのでご了承ください。